

浜町から 風の便り 39

2022 (令和4) / 1/1. 船橋市浜町 辻 秀幸

謹賀新年。

皆さま今日は、まだまだしつこく続く私のつらやき。思い出話は飽きましたので、書いてから撮りためた写真を恥すかしながらも図々しくも恥知らずにも無理矢理にでもご覧いただきます。

アオハハゴロモ

かわいらしい。撮写しているともっともっと写したくなります。

名前から連想されるのは羽衣伝説。その一つ、かくや姫は、月に帰る時に羽衣を着せられます。すると育ててくれたじじばばとの別れのつらさがすっと消えまじした。PTSDの治療に役立つのではないかと、羽衣深しが構っているそらうです。

かくや姫は不孝不死の薬を帝に残しました。帝は、恋しい人のいない不孝不死なんてイミナーイ、と不二山頂で焼き捨てたそらうです。残念でした。こちらの方



動物界・節足動物門・昆虫綱・
有翅昆虫亜綱・カメムシ目・
ヨコバエ目・ハゴロモ科・
アオハハゴロモ科・
アオハハゴロモ属・
アオハハゴロモ

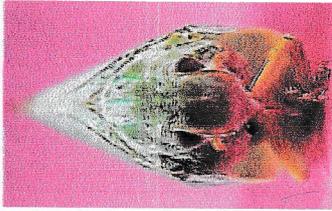
学名: *Gaeina sisymbrii*
和名: アオハハゴロモ
2018/8/20.
船橋・浜町 1. 「浜町公園」

図鑑を調べると「カメムシ目」所屬ということがわかります。カメムシやセミのグループです。アオハハゴロモがカメムシやセミと近い生き物だとは「え、ウソ」というカンジでした。

写して一人楽しんでいるだけなので、虫博士にはなれません。ですが、興味があることに会おうとあります。

平均棍（へいこんこん）とか、鼻腺（しゅうせん）とか、写真に記録しようと頑張りますが、相手は顕微鏡的な大きさ。ピンボケでもそれとわかる写真が撮れるだけうれしい。

蟲を撮り始めたのは、ガラケーを購入したからです。電話できれい、と基本機能だけの機種にしました。そこにカメラが付いているのでびっくり。ウン十年昔のカメラ少年にもどりました。写せて、パソコンで簡単に現像引き伸ばしじゃなくてプリントできるかわかって書いていました。しかしです、立ち読みした昆虫写真集を見てガックリ。我が家の貧しさよ、そこにカさんから蟲写真の繪



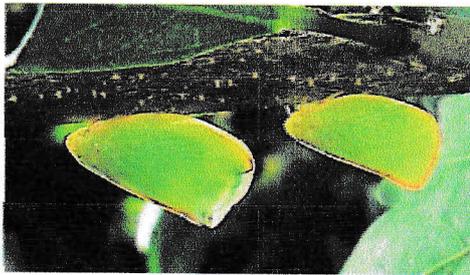
この写真では分かり難いですが、セミと同じ長い注射針のような口をもっています。

2018/8/20.
船橋・浜町 1.
「浜町公園」

はがきが届きました。本屋に並ぶ写真集に載っているような生態写真ではありませんが、ガックリの思い出。

教職時代の同僚の生物の先生で、高校の先輩で、生物学を学ぶ大学生が昆虫に関する副教材として使える写真集を出版したY先生にそのあたりのことを愚痴ると、適材適所、蛇と剃刀は動きが違、専門家はそれなりの高品質高価な器材を使う、ガラケーはガラケーなりの、お前さんの写真をめざしては、とアドバースを頂いた。ということですが、ピンと合わせに必死なだけの写真ばかりが増えています。

倣に、キャノンのデジタル一眼レフが加わりますが、そのあたりのこととか、平均撮写しや抜け殻のことなどにも触れられればいいなと、私の言いなりになる大編集長と打合せをさせさせていただきます。



保護色で天敵に見つかり難いのでは？私には目には届いてはかき目立ちます。

この撮影の時は、チヨコサキコと幹の向こうに隠れました。昨年はあるところ間違って家に逃げ込んでしまいました。

2017/7/21.
船橋・浜町 1.
「浜町公園」